



# 三中だより

中野区立第三中学校

第6号

平成28年10月11日発行

## リーダーを選ぶ

校長 齊藤 久

9月28日（金）三中生として卒業する最後の生徒会役員選挙が行われました。会長には2年生が1名、生徒会役員には2年生が3名、1年生が3名、立候補してくれました。会長候補は「三中の伝統を最後まで守り抜き、新たな歴史につなげられる生徒会にしたい。」と立候補した理由を堂々と演説してくれました。

選挙は、民主政治の根幹をなすものであり、国民一人ひとりにとって、政治に参加する貴重な機会です。近年、国政選挙、地方選挙とも投票率は全般的に低下傾向が続いています。このような社会状況の中で、昨年、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられました。この選挙権年齢の引き下げは、70年振りの歴史的改正であり、より一層、若者に対する主権者教育の推進が求められています。



若い頃、私がパキスタンの首都イスラマバード日本人学校の教員として派遣されていたその時期に、パキスタンの大統領選挙が行われたことがありました。選挙が近くなると交差点には軍隊が配備され、選挙会場の建物の周りには有刺鉄線が張り巡らされ、機関銃がついている装甲車が配備されていました。大統領候補が演説している会場では、自爆テロが発生したという報道があり、緊迫した雰囲気の中で選挙が行われました。外国人の私は選挙に行くことはありませんでしたが、選挙を通じて国に相応しいリーダーを選ぶことは、幸福な生活が送れるかどうか希望を託すことになるというパキスタンの人々の思いが伝わってきた大統領選挙でした。

文部科学省では、18歳に選挙権年齢が引き下げられた対応として、主権教育の取り組み指針を示し、「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために」という副教材を作成し高校へ配布しました。中学校でも社会科で選挙制度の学習や模擬選挙の実施を行い、主権者教育に取り組んでいます。

今回の三中の生徒会選挙では、立候補者による立ち合い演説会のあと、中野区選挙管理委員会からお借りした選挙機材を体育館に設置し、三中の生徒たちは、生徒手帳を選挙管理委員へ提示してから投票用紙をもらい、個別の記入台で一人ずつ投票用紙に記入し、ジュラルミンケースの投票箱へ投票しました。以前は、立ち合い演説会終了後、クラスに戻り、教室で投票用紙が配布されて投票する流れでした。今回、新しい試みとして、近い将来の18歳選挙権年齢に向け、厳粛な雰囲気の中で、新しいリーダーを選ぶことができました。

来年度、歴史を閉じる三中ですが、「伝統を最後まで守り抜き、新たな歴史につなげられる」という新しい生徒会長の言葉を大切にして、ゴールを目指して行きたいと思います。

## 今後の主な予定

10月11日(火) 後期始業式	10月28日(金) 連合音楽祭
10月25日(火) 合唱祭	10月31日(月) 3年三者面談開始
10月27日(木) 第2回進路説明会	～11月7日(月)
	11月5日(土) 学校説明会 ふれあい教室

### 道徳授業地区公開講座

教務部 芳賀 貴明

去る9月10日(土)、学校公開に合わせて道徳地区公開講座を行いました。テーマを「生命の尊さ」とし、1校時は道徳授業、2校時には講演会に学校全体で参加しました。

1校時の道徳の授業では、1学年が「語りかける目」、2学年が「命ということ」、3学年が「最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく」という題材で授業を展開しました。各学級の授業では視覚的に教材を提示したり、小グループに分かれて話し合い活動を行ったりと、工夫を凝らした指導が見られました。

2校時の講演会では「アメリカ合衆国とテロ事件～9.11テロ事件を通して～」と題し、元ニューヨーク日本人学校教諭で、現町田市立真光寺中学校副校長である永井晋先生のお話を体育館で聴きました。永井先生がアメリカ時代の写真を示して日本との文化や環境の違いについて紹介しながら、少しずつアメリカ同時多発テロが起こった瞬間に話しを進めると、生徒たちは緊張した面持ちで話に聞き入っていました。終盤、永井先生が涙ながらにテロの犠牲になられた生徒のご家族の話をして、学校で生命の尊さを実感した経験を伝えてくださいました。

講演会后、生徒たちは教室で学んだことを振り返り、別室では永井先生と保護者、本校教員による意見交換会を行いました。参加された皆さんと意見を共有し、今後は、生徒を学校・保護者・地域で共に育てていくという気持ちも共有できた道徳授業地区公開講座となりました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



### 学校保健委員会

保健主任 中角 友紀

9月15日(木)に芹澤文庫にて学校保健委員会を行いました。学校保健委員会は、学校と家庭及び地域社会を結ぶ組織として、生徒の健康づくりの推進、及び学校・家庭・地域の教育力の充実を目指すための会で、毎年1回開催されています。今年も学校医の先生方6名全員とPTA役員を含め保護者の方10名、学校より校長他4名が出席しました。

今年度は、主に「定期健康診断の結果」、「生活習慣アンケート」についての実態報告を基に、各学校医の先生方に生徒の健康状態についてお話しいただきました。

全国的には、減少傾向にある「う歯」の割合が高いことや、睡眠にまつわる諸問題、子どもたちが訴える様々な心身の不調等について触れ、就寝直前までスマホや携帯等を使用していると睡眠障害を招く恐れがあること、夜中まで糖質の摂取をしていることがう歯の誘因となること等、生活習慣との関連性についてお話がありました。また、最近話題となっている事柄や保護者からの質問についての話もあり、子どもたちの健康について考える機会となりました。詳細については、以前配布した学校保健委員会だよりをご覧ください。と思います。

子どもの心身の健康問題は、社会環境や生活様式などの変化に伴い、複雑多様化、深刻化してい

ます。課題ばかりでなく、全体的に朝食の摂取率が高いこと、個々で見ると早寝早起きが習慣づいている子など、良い面もあります。今できていることを継続、さらにステップアップしていくことも大切にしていきたいと思えます。

今後も、子どもたちが自分の健康について考え、望ましい生活習慣を自己管理できる力を培っていただけるように、家庭・地域・学校と様々な立場の大人が見守り、育てていけるよう、ご協力をお願いいたします。

## オープンキャンパス

9月20日(火)に、桃園第二小学校と白桜小学校の6年生児童が来校し、今年度2回目のオープンキャンパスを実施しました。

体験授業では、児童が国語、数学、英語、社会、保健体育、音楽、技術の7つの教科に分かれ、中学校の授業を受けました。授業後に児童から、「期待していた通りの楽しい授業を受けることができて嬉しかった」などの声が多数聞かれ、小学校から中学校へのスムーズな接続に向け、児童が中学校への理解と期待を深めることができました。

部活動体験では、各部の部長を中心に、三中生が中学生としての自覚を持って、小学生への挨拶、活動の紹介、練習の指導を行いました。雨天の影響から、希望していた部活に参加できない児童も出てしまいましたが、三中生の部活に対する一生懸命な姿勢を感じ、それぞれの部の特色に触れることもできて、児童たちはとても満足していた様子でした。

今後も桃園第二小学校と白桜小学校との連携はさらに進めていきます。その中で三中生の成長した素晴らしい姿を小学校の先生方、児童の皆さんに見せてくれることを期待しています。

## 鉢花交流活動

9月23日(金)、24日(土)2日間に渡って、鉢花交流を行いました。この活動は平成14年度から数年前まで地域の方々と交流する大切な機会として続く三中の有志生徒による伝統的なボランティア活動でした。今では「総合的な学習の時間」の一環として、全校生徒が参加しています。23日金曜日は、各地域に分かれ、保護者、民生児童委員の方々と一緒に高齢の方々のお宅を一軒ずつまわり、鉢花(カランコエ)と生徒の手書きのメッセージカードをプレゼントしました。24日土曜日には、吹奏楽部の生徒が高齢者施設を訪問し、鉢花(カランコエ)のプレゼントに加え、吹奏楽の演奏も披露しました。両日も、生徒たちは一生懸命心を込めて活動し、「いつもありがとう」という言葉をいただいたり、昨年度までの鉢花が成長した様子を見せてもらったりと、思いやりの心と地域との絆の大切さを実感したと思います。これからも地域との絆や思いやりの心を大切に日々過ごしてもらいたいと思えます。

## ～鉢花交流活動を終えて、地域からお手紙をいただきました～

今日はきれいなお花、頭がよくなる花、幸福を告げる花を本当にありがとうございます。皆様でいらっしゃったので何か良いお話しでもできれば良かったのですが話し下手なのでごめんなさい。ここに54年住んでいますので息子三人が三中にお世話になりました。とても良い時代で何事もなく楽しく通わせていただきました。色々な思い出が私にもあります。私の学生時代は戦争で大

教務主任 鎌形 孝二



生活指導部 渡邊 達也



変な青春時代でしたけれども、皆様は楽しい青春を送ってくださいませ。本当にありがとうございました。

心温まるお手紙、ありがとうございます。

## 総体陸上競技大会

保健体育主任 高橋 信幸

9月27日、前日の雨も上がり、天気も心配されましたが良く晴れた空のもと、駒沢陸上競技場で総体陸上が行われました。今年は、練習のほとんどが雨になり、体育館で行うことが多く基礎トレーニングが中心で、満足に種目別の練習やリレーのバトンパスができない状況でしたが、そんな中でも全員が力の限り競技に参加し、三中代表として恥ずかしくない姿を見せてくれました。



今年度も出場者が少ない状況でしたが、昨年同様多くの入賞者を出すことができました。その中でも、3種目で金メダルを取ることができ、さらに、男子は総合で8位に入る活躍を見せました。来年度は、三中として最後の総体陸上になります。皆さんの応援もよろしくお願いいたします。

【共通女子砲丸投】1位 杉中 日菜乃(3A) 【3年男子110mH】1位 田中 伊織(3B)  
【共通女子800m】3位 神林 東(3B) 【2年男子100m】3位 緑川 和洋(2A)  
【1・2年男子走幅跳】3位 実井 智哉(2B) 【共通男子砲丸投げ】6位 板橋 琢己(3A)  
【3年男子走幅跳】6位 八束 知希(3B) 【1年女子100mH】6位 山田 芽生(1B)  
【共通男子200m】7位 堀越 光(2A) 【3年女子100】8位 飯盛 望央(3A)  
【共通女子4×100mR】8位 神林 東(3B) 福田 理奈(3A) 杉中 日菜乃(3A) 折久木 聖菜(3B)  
【2年男子4×100mR】1位 実井 智哉(2B) 伊東 航輝(2B) 堀越 光(2A) 緑川 和洋(2A)  
【共通男子800m】7位 大内 中(3B) 【2年男子1500m】6位 大内 容(2B)  
【2年男子110mH】6位 丸山 弘人(2A)  
【男子総合 8位】

応援、ありがとうございました。

## 生徒会役員選挙

生活指導部 岩淵 孝太

9月30日(金)に生徒会本部役員選挙立会演説会が行われました。今回の役員選挙は、会長と1年役員は定員の人数が立候補したので信任投票となりましたが、2年生役員は定員2名に対して3人が立候補し、選挙となりました。



選挙運動期間は、朝の昇降口でのあいさつや給食での放送演説などの活動を行い、立候補者一人ひとりが選挙当日に向けて気持ちを高めていきました。そして迎えた当日。立会演説会では立候補者が熱い思



いを全校生徒に伝えることができ、選挙運動と演説をする姿を見て、とても頼もしく立派に感じました。

投票は、中野区選挙管理委員会から実物の投票箱と記載台をお借りし、体育館を投票会場として、選挙管理委員が立会いのもと、公平に投票が行われました。選挙の結果、下記の6名が選出されました。後期からはこの新生徒会本部役員6人を中心として、これまでの三中の伝統を引き継ぎ、生徒会活動が発展していつてくれることを期待しています。

### ○新生徒会本部役員

【生徒会長】 森尻 陶子(2B)

【役員】 榎山 千晴(2A) 眞崎 昂(2A) 佐藤 大海(1A) 井上 達介(1B) 岩田 純輝(1B)